

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民税事務管理事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	02	02	01	02	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）				主管課	市民税課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営				主管課長	井口 仁志			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民税の納税義務者	意図	市民税課税事務を効率的に実施し適正な課税に努める
事業内容	課税資料の仕分け、資料内容の確認、徴収方法の確認等、入力に必要な項目を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	課税資料は紙ベースでの提出であったが、確定申告書については国税連携の開始により100%データ化され、給与支払報告書及び公的年金支払報告書についてもエルタックスの導入によりデータ化が進んでいる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	課税客体（個人）	81,721	82,615	84,201	人
②	課税資料の処理件数	181,323	190,019	193,037	件	↑↑↑	実績値
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・区画整理の進捗に伴い、納税義務者が1,586人増加（1.9%）し、課税資料も3,018件（1.6%）増加した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		33,151,441	27,638,848	28,552,992			
事業費(b)(円)		16,923,301	15,393,478	16,123,126			
うち一般財源		16,923,301	15,393,478	16,123,126			
職員給与費(c)(円)		16,228,140	12,245,370	12,429,866			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		20.00	10.00	12.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	課税資料の電子化により、端末機器による作業が大幅に増加したため、当初課税用端末機を増設する。	③取り組みの課題	平成28年度より、千葉県下特徴一斉指定を開始することから、その体制づくりを実施する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	当初課税に向け臨時職員専用端末機を、前年度の2台から5台へ増設し、作業の効率化を図った。	④今後の改善計画	特徴一斉指定を11月に通知するためチームを編成し、7月から11月の期間で対象事業者のデータ作成や通知書作成等を実施する。